

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業
評価報告書（イノシシ）

（香川県 環境森林部みどり保全課）

基本評価シート（イノシシ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画策定		
	指定管理鳥獣の捕獲等		
都道府県名	香川県	担当者部・係名	みどり保全課
担当者名		担当者連絡先	087-832-3212
捕獲実施事業者	㈱野生鳥獣対策連携センター (認定を受けている)	予算額（※2）	11,139,700 円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	7,998,100 円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算のうち、イノシシ相当額を記入。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳のうち、イノシシ相当額を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和5年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
目標頭数 55 頭	55 頭	100.0%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
42,438 頭	12,000 頭以上	40,000 頭
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
296 頭	8,744 頭	55 頭

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 狩猟期間の延長、禁止猟法の一部解除、休猟区における特例制度の活用 ・ 積極的な有害鳥獣捕獲の推進 ・ 市町を対象とした捕獲資機材の整備等に係る経費の助成
--

2. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>令和4年度は県全体でイノシシによる人身事故が9件発生しており、令和3年度の2件と比較して増加した。捕獲頭数を見ると令和4年度は15,680頭のイノシシが捕獲されており、第二種特定鳥獣管理計画における単年度計画の目標頭数(10,000~12,000頭)を達成している。令和3年度の捕獲数(14,349頭)と比較すると、約1300頭の増加となっている。</p> <p>令和5年度についても住居集合地域等への人的被害を防止することを目的として有害鳥獣捕獲では実施が困難な地域を対象にイノシシの捕獲を継続して強化し、第二種特定鳥獣管理計画の目標達成を図ることとした。</p>
	<p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乗せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p>
人材育成の観点	<p><input type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。</p>
実施期間	<p>令和5年7月28日~令和6年3月18日 (捕獲を行った期間 令和5年8月7日~令和5年12月22日)</p>
実施区域	<p>高松市</p>
関係機関との協力	<p>安全に本事業を遂行するため、関係市町、地元狩猟者と協議し、事業実施時期やわなの設置場所の調整を行った。</p>
事業の捕獲目標	<p>(100.0%達成) = (55頭 実績値) / (55頭 目標値)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input type="checkbox"/> 個体の身体の一部(耳、尾など)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真(詳細を記載:ウェブデータベースに登録)</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p>
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。</p>

	<p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容：毎日1回以上見回りし、錯誤捕獲個体は速やかに放獣。場合により捕獲報知センサーを設置)</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。</p>
	<p>鳥類の鉛中毒等について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。</p>
	<p>鉛製銃弾について</p> <p><input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。</p>
安全管理の体制	<ul style="list-style-type: none"> ・作業実施時に注意標識を設置 ・緊急時の連絡体制の整備
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> <p>事業従事者数：11人 (内訳)</p> <p>正規雇用者：11人、期間雇用者：0人、日当制等：0人</p>

3. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点*	
【目標達成】	<p>評価：令和5年度は目標55頭に対して実績55頭であり、達成率は100.0%と令和4年度の117.9%を下回った。また、CPUEが減少、捕獲個体の雌の割合が減少した。幼獣成獣比については幼獣の捕獲割合が増加した。</p> <p>改善点：なし</p>
【実施期間】	<p>評価：高松市で約60日間の捕獲期間を確保できた。</p> <p>改善点：なし</p>
【実施区域】	<p>評価：有害鳥獣捕獲で対応が困難な地域を対象として捕獲を実施した。捕獲前後の痕跡調査結果により捕獲実施区域内の痕跡数が減少、ヒアリング調査においても出没や被害の変化がない、あるいは減少しており、現状の捕獲頭数で捕獲の効果ができていると判断できる。ただし、個体数の再増加の可能性が考えられることから、現状もしくは現状以上の捕獲圧を引き続きかけていくことが必要である。</p> <p>改善点：痕跡調査の結果を参考に、より捕獲の可能性の高い場所を選定する。より高い捕獲圧をかける。</p>
【捕獲手法】	<p>評価：くくりわなの効果的な設置方法については、ほぼ確立しつつあるが、より捕獲の可能性が高い場所にわなを設置する等、捕獲効率を上げる取組みを検討する必要がある。</p> <p>改善点：引き続き、現場における痕跡調査を行い、データの蓄積に努める。</p>

2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：各地域に必要な捕獲従事者を配置することができ、必要な捕獲努力量を確保することができた。
	改善点：なし
【個体処分】	評価：廃棄物処理業者への処理委託を行った。CSF の感染拡大予防のため、食肉としての活用は行わなかった。
	改善点：なし
【環境配慮】	評価：錯誤捕獲は、令和 4 年度は 2 回 (0.08%) 発生したが、令和 5 年度は発生しなかった。
	改善点：なし
【安全管理】	評価：注意喚起看板等の設置を行うとともに、地域住民への注意喚起を徹底した結果、大きなトラブル等はなかった。
	改善点：なし
3. その他の事項に関する評価及び改善点	
なし	
4. 全体評価	
<p>令和 4 年度の実施地区であった高松市の屋島が対象外となり、男木島及び女木島での捕獲となった。実施区域全体として捕獲目標の 55 頭が達成された。実施区域個別にみると男木島で捕獲目標に 1 頭足りず、全体の CPUE の減少要因となった。いずれの実施区域でも捕獲すべき個体が減少していると考えられるが、継続した捕獲が望まれる。</p>	

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

<p>令和 5 年度の県内のイノシシの出没件数は、147 件、人身被害件数は 3 件であった。これは、平成 22 年度以降最多であった令和 4 年度の 362 件、人身被害件数は 9 件（うち 3 件が高松市）から大きく減少した。令和 5 年度の本事業は、高松市の男木島及び女木島において、主に 8 月、9 月、12 月に集中捕獲を行い、イノシシ 55 頭（目標頭数 55 頭）を捕獲した。</p> <p>県内でイノシシの出没が多発する中、高松市が実施する有害鳥獣捕獲では捕獲従事者が限られる島しょ部を対象に本事業を実施し、女木島ではイノシシの出没通報があったものの、人身被害は発生しておらず、本事業による捕獲が一定の効果をあげたものと考えられる。</p>
--

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input type="checkbox"/> 事業区域ごと <input type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input checked="" type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input checked="" type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 （ 頭胴長、後足長、体重 ）	
③目撃数	<input type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 （わな稼働日数＝わな基数×稼働日数）	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック	
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input checked="" type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図	<input checked="" type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図	<input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input checked="" type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図	<input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input checked="" type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する上での課題		

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果 (必須となる記録項目)

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲 該当なし

②わなによる捕獲

外業の人日数総数^{※1}: 118 人日

事前調査人日数概数^{※2}: 12 人日

出猟 (捕獲作業) 人日数: 106 人日

項目	令和5年度 (事業年度の値)	令和4年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量 (わな猟) わなの稼働総数 (わな基×日数)	2,087 基日	2,468 基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1: 事前調査人日数概数と出猟 (捕獲作業) 人日数の合計

※2: 事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

※3: ニホンジカとイノシシの合計値である。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲 なし

②わなによる捕獲

項目	令和5年度 (事業年度の値)	令和4年度 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	55 頭	79 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.33 (18/55)	0.47 (37/79)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.44 (24/55)	0.39 (31/79)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	55 頭	2,087 基日	0.026 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： _____ 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： _____ 0 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

捕獲個体の写真、捕獲個体と従事者を一緒に撮影した写真により確認するとともに、Web サービスを活用し、捕獲場所や処分の時間をリアルタイムで把握できるようにした。また、一部については現地確認を実施した。